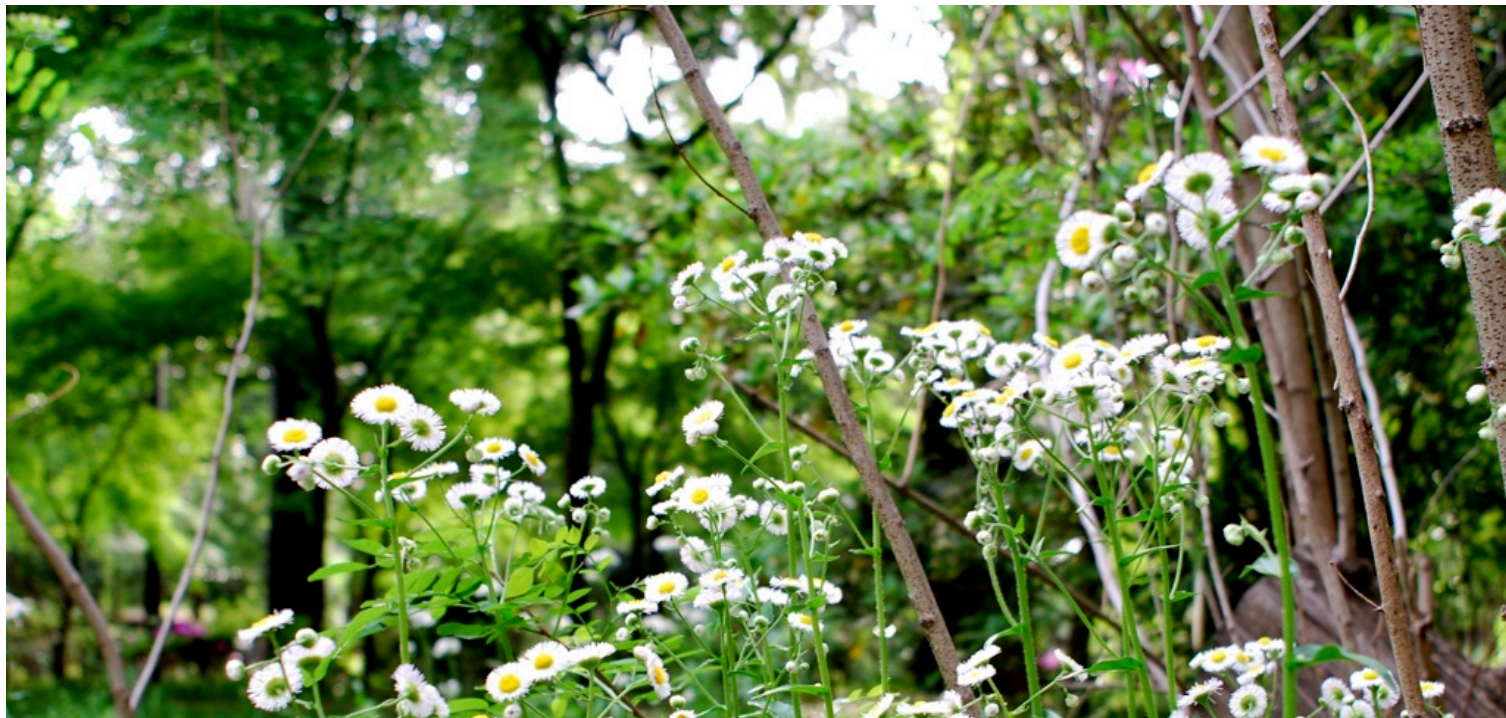


J. ベアード・キャリコット (J. Baird Callicott) 教授講演会

生物多様性 —その意味は？また、なぜそれは善なのか？—

Biodiversity: What It Is and Why It Is Good?



グローバルCOE「死生学の展開と組織化」は、このたび環境倫理学のパイオニアの一人として知られる、J. ベアード・キャリコット教授（ノース・テキサス大学）をお招きし、公開講演会を開催します。講演はパワーポイントを用い英語で行いますが、質疑応答は通訳がつきます。

キャリコット教授は環境倫理学を早くから唱道して来られました。1971年にウイスコンシン大学で世界最初の「環境倫理」の講義を行い、1994年から2000年にかけては、国際環境倫理学会の会長を務められました。

*In Defence of the Land Ethics*という著書があることから分かるように、キャリコット教授はアルド・レオポルド（1887-1948）が唱えた「土地倫理」の考え方を継承し、「自然の権利」の概念やエコセントリズムの思想の発展に力を尽くしてきました。

昨年、日本語訳書が刊行された『地球の洞察——多文化時代の環境哲学〈エコロジーの思想〉』（みすず書房、原著、1994年刊）では、アジアの宗教や文化伝統にも多大な関心を寄せて、文化的多様性を踏まえた環境倫理学の構築に取り組んでおられます。この度の公開講演では、環境倫理学の鍵概念の一つでもある「生物多様性」について、正面から論じられます。どうぞふるってご参加下さい。

会場 東京大学本郷キャンパス 法文2号館 一番大教室

日時 2010年6月30日（水曜日）午後5時より

オーガナイザー 島蘭 進+一ノ瀬正樹(拠点リーダー)

東京大学大学院人文社会系研究科 グローバルCOE「死生学の展開と組織化」

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1/Tel: 03-5841-3736

主催 グローバルCOE「死生学の展開と組織化」 招聘協力 上廣倫理財団